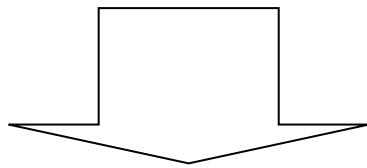
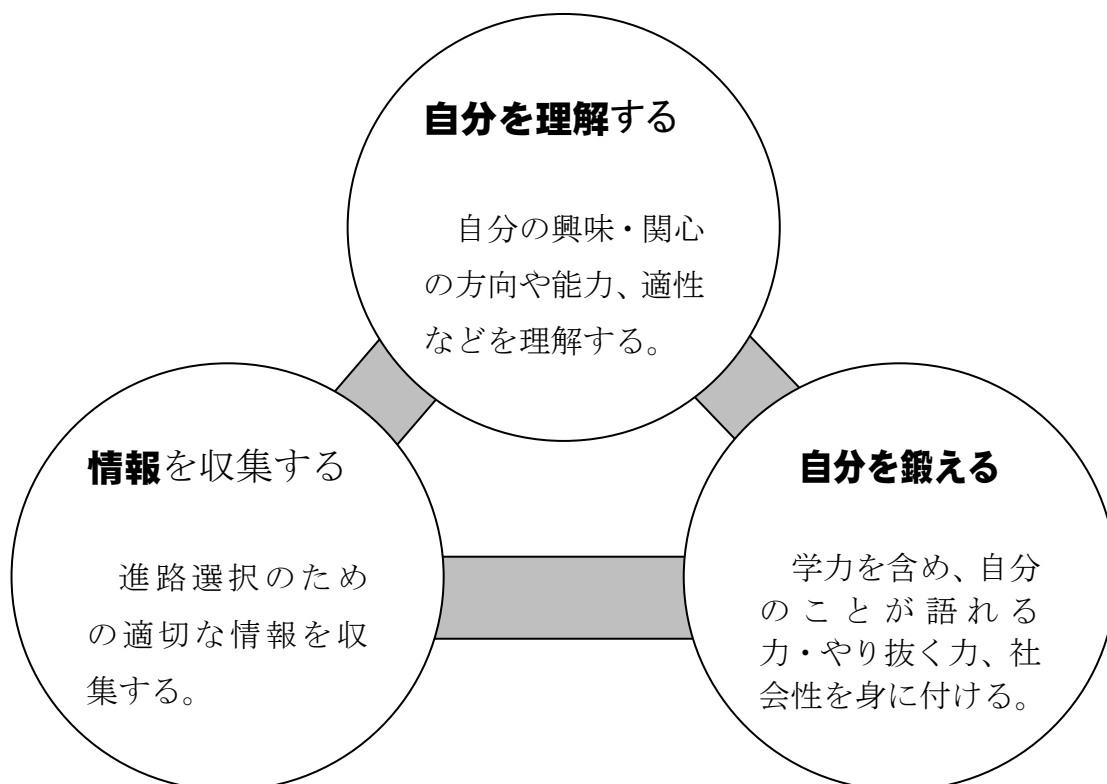


# あなた(わが子)の進路選択について

進路を選択・決定することは、あなたの将来の生き方を選択するということです。



大切な姿勢は、**夢や希望**をもち、  
生き方をよく考えて、自分の意思で  
進路を選択・決定していくことです。



# 1 進路の選択から手続まで

就職を希望する人は、公共職業安定所(ハローワーク)の方との懇談を行います。希望する就職先がしぼれたら、本人・保護者・担任で職場見学に行き、採用試験を受ける手続をしていきます。保護者の縁故の関係で、すでに就職先に見通しがある場合には、二者懇談(三者懇談)で担任にその旨を伝えて下さい。

また、私立高等学校の受験を希望する人は、1月に出願し、入試を受けることとなります。入試の日程を確認し、速やかに手続きができるように細心の注意が必要です。私立単願(推薦)希望の人はもちろんですが、併願(私立・公立)希望の人も、11月末から始まる三者懇談では、第一希望となる進路先をほとんど決定していきます。

次のことに十分に注意をして、進路選択をしていきましょう。

- 見通しをもって相談をしましょう。
- 早めに保護者や担任と相談をして、十分に考え、自分で納得のいく選択をしましょう。
- 「これだけやってきたから・・・明日は精一杯力を出すだけだ。」と試験前日に言えるように、進路実現に向けて、自分の支えとなる努力を継続させましょう。
- 自分の進路についての具体的な情報は、積極的に担任の先生に聞き、最終的には自分で確認しておきましょう。



自分の進路は自分で選択し、その選択については納得のいくものにする。

## 2 就職するために

### 1. 職場の選び方

社会に出て行くことは、とても勇気のいることです。また、社会人としての責任も伴います。就職後の生活について十分に考え、保護者や担任の先生と相談をした上で進めていきましょう。

中学卒業者対象の職場は、主に製造業、土木・建設業、飲食業、理美容です。労働条件が事業所によって異なりますが、自分の能力や個性を十分に発揮して働けたり、将来は独立をしてやっていけたりするよさもあります。従って、企業の規模の大小や給料の多少で決めるのではなく、自分の能力が精一杯に発揮できそうな職場を選ぶことが大切です。

#### 職場選択のポイント

- ① 働く条件はどのようになっているのか。
- ② 働く環境はどのようになっているのか。
- ③ 将来性や経営状態はどうか。

職場を選ぶには、前頁のポイント①～③についてよく知っておくことが、自分がその仕事を続けていく上で大切になってきます。しかし、コロナ禍で企業の採用も絞られている中、さまざまな資格をもった学生を採用したいため、中学校卒業者の求人はずっと少ないのが現状です。(岐阜・大垣・揖斐管内の中卒求人数は令和4年9月末現在で5社、12人)就職もなかなか厳しいと言わざるを得ません。自分の興味・関心がある仕事に就き、自分の適性を生かすことが大切ですが、幅広い職場の選択肢があるわけではありません。その点をよく考えて決めていきましょう。

大学生や高校生の就職についても、企業は、「採用してから育てる」という余裕がなくなってきました。今や即戦力が求められる時代です。ですから、大学や高校で「何を学んだか」「何を身に付けてきたのか」ということが問われています。高校一日入学でも学んだことと思いますが、技術や資格を身に付けるために一生懸命に高校生は取り組んでいます。高校は改めて「学ぶところである」という認識が必要です。

**中学を卒業して、すぐに社会人として活躍しようとする皆さんは、次の点を参考にして、適切な進路情報を収集しましょう。**

- 求人情報を見る。
- 職場見学をする。
- ハローワークや事業所で説明を聞く。
- 家族や先生、友人、先輩などから話を聞く。

- ・仕事の内容
- ・勤務条件(給料・休日・勤務時間など)
- ・必要な資格
- ・将来性 など

**※働きながら定時制や通信制の高等学校で学ぶこともできます。  
 ※「トヨタ自動車」「デンソー」など、就職後に企業内研修校で学びながら高校の資格をとる会社もあります。**

**2. 就職の仕方**

就職の仕方には、次のような方法があります。

- ① 学校を通して、公共職業安定所（ハローワーク）の斡旋によるもの。
- ② 親類、知人などの縁故によるもの。
- ③ 直接自分で企業に出向いて応募するもの。
- ④ 家事・家業につくもの。

人を雇い入れるには、特別な場合以外、すべて公共職業安定所(ハローワーク)を通すことがきまりになっています。それには次のようなよさがあるからです。

- さまざまな就職の機会や情報を幅広く知ることができるから。
- 採用された後も、法律によって就職者が保護されるから。

**3. 就職の手続**

**(1) 職業相談(11月から12月)**

公共職業安定所(ハローワーク)の職員の方が来校して、就職や職業訓練校などの相談にのっていただけます。就職を希望する人や迷っている人は、保護者と一緒に相談を受けることができます。

**(2) 職場訪問(希望に応じて随時)**

本人・保護者・担任で希望の職場を訪問し、仕事内容を見学したり、説明を聞いたりして、その職場でやっていけるか、就職の意志などを確認します。

### (3) 必要書類

就職の職種が決まったら、必要な書類を学校に提出します。

- |                               |
|-------------------------------|
| ア) 本人が用意するもの … 履歴書・写真など       |
| イ) 学校が準備するもの … 成績証明書、健康診断書 など |

学校は、これらの書類をまとめて公共職業安定所に送り、その後、書類が各事業所へ送られます。

### (4) 採用試験(1月)

採用試験は、主に、面接試験が中心ですが、事業所によっては、記述試験が行われるところもあります。社会に出ると一般常識が問われます。また、基礎学力である漢字や計算などは実際の職場でその力が試されることとなります。就職をするから勉強はあまり力を入れなくてもいい・・・というのは間違いです。必要な資格や技能を身に付けるためには、各種の検定試験を受け、合格しなければなりません。

### (5) 内定通知

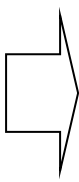
事業所から内定通知がきて、就職が決定します。しかし、あくまでも内定です。正式採用となるまで気を抜くことなく、今の自分に必要な学習に力を入れ、就職をしてから自分の力を発揮できるように、生活の姿(挨拶・礼儀・時間を守る・服装・髪型など)を強く意識し、誰に見られても自信をもって今の自分を語るようにしましょう。

**※ 定時制や通信制の高校を希望する人は、改めて出願をして、試験を受けます。事業所によっては、勤務時間などを考慮してくれるところもありますので、詳しくは事業所と相談して下さい。**

## 3 進学するために

上級学校には、高等学校、高等専門学校、専修学校があります。高等学校を例にとれば、普通科、単位制普通科、専門学科、総合学科など、各種の学科や類型・コース・系列があつて、さまざまな教育内容や活動があります。

詳しい内容については、「公立高校をめざす皆さんへ」「各高等学校のパンフレット」「各高等学校のホームページ」などを参考にして、自分の将来の夢や希望が実現できるよう進路情報を収集しましょう。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各高等学校などのパンフレットなどを見る。</li> <li>○ 学校見学。</li> <li>○ 先輩から話を聞く。</li> <li>○ 家族や先生、友達などと相談する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校風、学校の特徴</li> <li>・設置学科やコース及び系列、教育内容</li> <li>・卒業生の進路状況、取得できる資格</li> <li>・部活動の種類と活動内容</li> <li>・通学時間や交通費、入学金や授業料 など</li> </ul>
--	---	--

### 高等学校の種類と課程及び学科

種類	公立(国立、県立、市立)・私立		
課程	全日制・定時制・通信制		
学科	普通科 (学年制)(単位制)		類型・コースを設置している。
	専門 学科	職業に関する学科	農業、工業、商業、生活産業、情報などに関する学科など
		その他の学科	理数科、英語科、音楽科、美術科など
	総合学科		普通科目と学校ごとの特色ある専門科目を選択して学習する。

## 1. 私立高等学校の受験について

### (1) 単願受験（私立高校のみを受験する場合） 推薦受験とAコース受験があります。

中学校長の推薦を受け、受験をすることを「推薦受験」といいます。「Aコース受験」は、欠席日数が多いなどさまざまな理由から推薦を受けることができないが、私立高校のみを希望するものが受験をすることをいいます。多くの学校が、推薦受験によって定員のおよそ80%程度を合格させています。

受験の方法については、「推薦」による試験と「学力試験」によるものがあります。

#### ※「推薦」を受ける手続きについて

まず、単願で受験する生徒は「推薦願い」という書類を中学校長に提出します。

その後、中学校で推薦委員会を開き、推薦の可否を検討し、保護者を通じて結果を伝えます。

推薦を受けるためには、高校が求める学力に合っていることとともに、高校が求める人物像に合っているか(「中学校生活のルールを守り、授業や諸活動を真面目に行っている」「自分の役割を誠実に果たし、仲間と協力して生活を送っている」「欠席が少なく、健康に生活を送っている」ことなど)が大切です。自分の生活を振り返り、まだ不十分だと思うことはやり遂げていくようにしましょう。

「推薦」による試験の内容は、「面接」と「作文」が中心です。保護者面接を実施する高校もあります。また、科によっては、実技試験が実施されることもあります。

「学力試験」はほとんどの「Aコース受験」で実施されます。また、Aコース受験では面接が実施されることが多くなっています。(試験の内容については、担任や各高校の生徒募集要項、ホームページ等で確認しましょう。)

### (2) 併願受験（一般受験）（私立高校と公立高校・国立工業高等専門学校等両方を受験する場合）

受験方法は、学力試験がほとんどです。同じ学校であっても、単願受験より難易度が高くなっています。公立高校が第一希望であっても、そこに100%の確率で合格できるとは限りません。私立高校を「どうせ行かないから・・・。」と安易に考えて決めるのではなく、公立受検が残念な結果になったときは、「この私立高校で学ぶことが、自分の願う将来につながる。」という考えで選択することが大切です。

主な私立高校の出願期間や受験日などは必ず確認しておきましょう。特に、単願受験を希望する人は、早めに希望の高校を選択し、面接や作文などの受験に向けて、練習をしておく必要があります。

#### ※保護者の皆様へのお願い※

◎出願するまでに、中学校では、いろいろな書類を準備します。そのため11月末からの三者懇談終了後に「私立高校手続き依頼書（B様式）」（〇〇高校を受験するので手続と書類の準備をお願いしますという書類）を提出していただくことになります。この書類をもって私立高校の受験先が決定するということをご理解ください。

どの私立高校も、自校がめざす方向をより明確に打ち出し、生徒の育成に力を入れています。設備や教育課程(カリキュラム)もさまざまです。受験校を選択する時、自分が望む将来の進路にどのようにつながるのかを考え、その高校のことをよく理解して選択するようにしましょう。今までに、高校説明会(見学会)に参加してきたことと思いますが、担任の先生と相談したり、ガイドブックやパンフレット、ホームページなどで十分に調べたりしておきましょう。

### (3) 多様化する私立受験

私立高等学校の受験は、多様なニーズに対応するため、近年様々な方法が取り入れられています。従来の単願(推薦およびAコース)入試と併願入試の他に、特待生を選抜するための入試(奨学生入試)や部活動の実績を評価する入試(特別推薦入試)、出席が少なかった生徒に対応するための入試などがあります。また、**試験日が異なる場合は、2校以上の私立受験が可能**になっています。そのため、そうした情報を積極的に収集し、かつ理解しておく必要があります。

**私立高校は独自のコースやカリキュラムをもち、強い独自性**を打ち出そうとしています。私立高校の大きな長所の一つは**徹底した少人数指導による手厚い学習指導**です。また、指定校推薦枠をもち、**併設大学への内部推薦・進学**が有利となる場合もあります。大学受験をめざしたカリキュラムや指定校推薦枠などは今後の進路を選択する上で重要な情報となります。公立高校を第一希望とするのか、それとも私立高校を単願で受験し大学進学をめざすのかを判断するときに、こうした情報を知っておくことが大切です。私立高校で行われる説明会などに積極的に参加するのは、そうした情報を得ておく必要があるためです。

### (4) 通信制課程を設置する私立高校

私立高等学校の中には、啓晴高等学校、ぎふ国際高等学校、清凌高等学校、西濃桃李高等学校などのように通信制の課程を設置する高校もあります。こうした高校でも、推薦入試と併願入試が実施されておりますので、私立高校の選択幅は広がってきています。通信制課程をとっていても、毎日通学するスタイルの高校が多くなっています。登校の仕方は学校によって違います。こうした通信制の課程をもつ私立高校に関する情報にも目を向け、今後の進路選択を行っていくとよいでしょう。詳しい内容や問い合わせについては担任の先生や各種パンフレット、ホームページをご覧ください。

## 2. 公立高等学校の受検について

### (1) 日程

第一次選抜、第二次選抜ともに全日制の課程と定時制の課程が同日に実施されます。

※「公立高校を目指す皆さんへ」P41参照

## (2) 第一次選抜と第二次選抜の内容

「公立高校を目指す皆さんへ」 P40参照

### ◆第一次選抜

#### ○全日制の課程

通学区域	全県一区
選 抜	<p>&lt;検査内容&gt;</p> <p>○<b>標準検査</b>⇒全ての出願者が受検する検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次選抜<b>学力検査</b>(国語・社会・数学・理科・英語) 検査時間は、1教科50分</li> <li>・<b>実技検査</b>(音楽科、美術科で実施)</li> <li>・<b>面接</b>(各高等学校で実施の有無を決定)</li> </ul> <p>○<b>独自検査</b>⇒独自検査を希望するか、しないかを出願者が選定する。</p> <p>※<b>部活動の実績や学科等の専門領域における実技能力</b>を、特に重視して評価する学科、コースで、<b>標準検査に加えて実施される</b>。各高校が示す「<b>選抜要件</b>」を満たしていることが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>面接、小論文、実技検査、自己表現</b>の中から各高等学校で指定</li> </ul> <p>&lt;選抜方法&gt;</p> <p>○中学校から提出された<b>調査書の記録及び標準検査の結果を総合的に審査</b>し合格者を決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の評定(5段階)の取り扱いについては、「第1学年と第2学年の評定の合計値」と「第3学年の評定の合計値を2倍した値」の和を用いる。よって、評定は 36～180となる。</li> <li>・調査書の評定と学力検査の結果の比率については、7:3～3:7の範囲となるよう各高等学校が決定する。</li> </ul> <p>※<b>独自検査を実施した場合には、調査書の記録、標準検査及び独自検査の結果を総合的に審査</b>し、高等学校で決定する割合(入学定員の<b>30%を上限</b>)により、合格者を決定。また、<b>合格しなかった場合には、他の受検者と併せて、調査書の記録と標準検査の結果を総合的に審査</b>し、合格者を決定する。</p> <p>つまり、標準検査および独自検査を実施する学科・コースについては、標準検査に加えて行う独自検査を含む選抜を先に行う。この際、出願者の第2志望(場合によっては、第3志望)を含めて選抜される。その後、独自選抜を含む選抜の合格者を除く全ての受験者を対象に、調査書および標準検査の結果に基づいて総合的に審査され、合格者が決まる。</p>

○定時制の課程

通学区域	○全県一区
選 抜	<p>&lt;検査内容&gt;</p> <p>○全ての高等学校で実施する検査</p> <p>・面接</p> <p>・第一次選抜<b>学力検査</b>(実施教科は各高等学校で指定可)又は<b>基礎的な学力をみる検査</b>(各高等学校で作成)の中から各高等学校が指定する検査</p> <p>○各高等学校で実施の有無を決定する検査</p> <p>・<b>小論文、実技検査、自己表現</b>の中から各高等学校で選択</p> <p>&lt;選抜方法&gt;</p> <p>○中学校長から提出された調査書の記録及び実施した検査の結果を総合的に審査し、合格者を決定する。</p>

◆第二次選抜

○全日制の課程・定時制の課程

実施校	○ <b>第一次選抜の合格発表日に合格者数が入学定員に満たない学科・コース・部</b>
通学区域	○全県一区
募集人員	○入学定員から第一次選抜及び連携型選抜での合格者数を減じた数
選 抜	<p>&lt;検査内容&gt;</p> <p>○全ての高等学校で実施する検査</p> <p>・面接</p> <p>○各高等学校で実施の有無を決定する検査</p> <p>・第二次選抜は<b>学力検査</b>(検査時間は、1教科30分)、<b>小論文</b>の中から各高等学校で選択</p> <p>・学力検査の実施教科は国語、数学、英語から各高等学校で指定される。</p> <p>・<b>実技検査</b>(音楽科、美術科で実施)</p> <p>&lt;選抜方法&gt;</p> <p>○中学校長から提出された調査書の記録、実施した検査の結果を総合的に審査し、合格者を決定する。</p>

(注意)

1. 第二次選抜の出願資格は「公立高等学校に合格していない者」となっています。したがって、第一次選抜で合格した場合は、第二次選抜に出願することはできません。
2. 第二次選抜は「第一次選抜及び連携型選抜の合格者数が入学定員に満たない学科・コース・部」で実施されるため、第一次選抜の合格発表後に初めて募集の有無がわかります。したがって、第二次選抜の募集を見込んで第一次選抜の出願先を考えることは勧められません。
3. 私立高校を併願で受験して合格しており、第一次選抜で不合格となった場合について
  - ・私立高校によって二次選抜への対応が違います。
  - ・私立高校へ入学するための手続きを行ったうえでの二次選抜受検となる高校がほとんどです。(入学金などの返金なし)

二次選抜まで考えるのかを、担任の先生や保護者とで十分話し合い、見通しをもてるようにしましょう。



### (3) 公立高等学校入試追試験について

#### ①新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ罹患患者等への対応について

新型コロナウイルス感染症等に罹患する等やむを得ない理由により第一次選抜を欠席した受検生のうち、希望者に対して追検査を実施します。

- 第一次選抜は、連携型選抜とは別日程で実施
- 検査内容は、第一次選抜、連携型選抜と同様（学力検査等は別問題）
- 合格発表は、第一次選抜、連携型選抜に含めて同日実施

**\* 当日朝までに中学校からの電話連絡ののち、罹患証明を中学校長を通して提出し、認められた場合のみ対象とします。該当する場合はまず中学校に連絡ください。**

**\* 私立高校のほとんどが、インフルエンザによる追試験を実施しません。（別室受験）**

### (4) 独自検査について

「独自検査」を実施する高校が示す、「**第一次選抜の独自検査を含む選抜における選抜要件**」を満たしている場合で、**受検生が希望する場合**に、出願時に「標準検査」に加えて「独自検査」の受験を選択することができます。内容としては部活動やクラブチームなどでの実績が多く、学科への適性を挙げている高校もあります。詳しい内容については、配付済みの冊子「公立高校をめざす皆さんへ」や各高等学校のホームページで確認しておきましょう。

(例)

高校	学科	区分	難易度	独自検査の要件	検査
本巢 松陽	普通	—	10%	<b>【体育的活動】</b> 次の1又は2のいずれかに該当する者。  1 バレーボール(女)において、中学時に部活動又は外部のクラブチームに所属し、地区大会(郡市大会の上位大会)以上の大会の登録選手であった者、又は各地区の選抜チームの候補選手として選ばれたことのある者で、本校入学後にバレーボール部に所属し、3年間継続して意欲的に活動する意志がある者。  2 ソフトボール(女)において、中学時に部活動(合同チームを含む)又は外部のクラブチームに所属し、地区大会(郡市大会の上位大会)以上の大会の登録選手であった者で、本校入学後にソフトボール部に所属し3年間継続して意欲的に活動する意志がある者。	面接 実技検査

### (5) 傾斜配点について

学力検査の配点は、原則として1教科100点満点ですが、普通科の自然科学コース、理数科、英語科、国際コミュニケーション科では、数学、理科、英語に傾斜配点を実施する高校があります。最大で150点満点を上限に設定されています。

#### 傾斜配点を実施する高校・学科(令和5年度入試)

○大垣東高等学校 岐山高等学校 理数科・・・ 数学(130) 理科(130)

**12月の三者懇談では、私立高校受験先と単願か併願かの決定をするとともに、公立高校の受験先についても、ほぼ決めていきます。**目標が明確になったら、教科の学習とともに、面接や小論文、実技検査、自己表現の学習を進めていくことになります。

## (6)「調査書」に関わって

「調査書」に記載される内容…

・ **1年から3年までの9教科の学習の記録**⇒評定・観点別学習状況(3年時のみ)

※評定に関しては、「第1学年と第2学年の各教科の評定の合計値」と「第3学年の各教科の評定の合計値を2倍した値」の和が選抜の時に用いられます。(前述)

・ **総合的な学習の時間の記録**

・ **特別活動の記録**(活動の状況・事実及び取組状況)

・ **欠席の記録**(1年から3年)

・ **学校内外における諸活動の記録**

(部活動クラブチームなどの実績・ボランティア活動・資格・表彰など **5つ以内**)

・ 特記事項

調査書は、上記のような内容を記載したものです。特に「**学校内外における諸活動の記録**」については、学校内外とあるように、中学校側で把握できていないことも含まれるので、「**3年間の活動記録調査(A様式)**」という書類を提出していただきます。部活動の記録や、ボランティア活動、英語検定や漢字検定といった検定などの事実を正確に記載してもらいます。**調査書に記載できるのは5つ以内**なので、それ以上ある場合は記載したい項目に、✓印を付けてください。担任は、この調査用紙をもとに、調査書を作成していきますが、諸活動の記録や特記事項は、提出された内容通りに記載していくので、正確に書いていく必要があります。

同時に、入試関係書類に記載する「**生徒名**」「**保護者名**」「**現住所**」の確認もします。中学校に届け出のある内容を調査用紙という形でお知らせしますので、間違いはないかを確認し、必要な場合は訂正をしてください。

上記の2種類の用紙(A様式)は、11月10日(木)までに提出をお願いします。

## 3. その他

### (1)面接試験について

いくつかの高校で面接試験が実施されます。日頃の生活の仕方や考え方など、今の自分自身が伝わるものです。**志望動機や目的意識**はもちろん、係活動や部活動など、中学校で頑張ってきたことを**堂々と自分の言葉で語れるよう**にしてほしいと思います。また、話すことが苦手な人は、話す練習を家庭でも是非しておきましょう。学校では、休み時間、放課後などを活用して指導をしていきます。さらに、**普段の生活においても、身なり服装、言葉遣い、礼儀**などに気を配り、面接に備えることが大切です。

### (2)願書について

・ 考査料

公立高等学校の入学考査料として、2,200円分の岐阜県収入証紙が必要です。県の出先機関(農協や銀行)で購入できます。1月の懇談で集めます。(国の収入印紙ではありませんので、間違えないようにお願いします。)

・ 証明写真

出願前6か月以内に撮影した無帽・正面上半身の写真(縦4cm、横3cm、カラー印刷されたもの)が必要です。すでに学校で卒業アルバムの業者に依頼して撮影を行っています。撮影をされなかった方やほかのサイズが必要な方は担任まで連絡してください。

・ 記入

願書は生徒の自筆及び、保護者署名で作成します。

### (3)自己申告書について

個人的な理由により、**欠席日数が多い生徒(目安:年間30日以上)**については、**本人と保護者が記入する「自己申告書(指定の様式)**を添えて出願することができます。詳細については、学級担任に相談してください。

#### (4) 定時制について

入学考査料は、**950円**です。全日制と同じく、**岐阜県収入証紙(950円分)**と**写真**が必要です。定時制の選抜日程は、全日制の日程と同じです。

#### (5) 通信制について

**入学考査料は要りません。**各自が出願先高等学校から入学願書の用紙の交付を受け、必要な事項を記入し、中学校が作成する「調査書」を添えて、各自が出願先高等学校長に提出(3月4日～3月25日)します。

#### (6) その他の進学先

**【国立岐阜工業高等専門学校】 ※ホームページ「入試情報」参照**

##### <推薦による選抜>

- ◎ WEB 出願エントリー期間 令和4年12月19日(月)～令和5年1月10日(火)
- ◎ 推薦選拔出願期間 令和5年1月4日(火)～1月10日(火) (1月7日(土)～9日(月・祝)を除く)
- ◎ 推薦検査日 令和5年1月14日(土) 面接
- ◎ 追試験(コロナ等) 令和5年1月28日(土)
- ◎ 合格発表(内定・発表) 内定 **令和5年1月18日(水)** 発表 **令和5年2月17日(金)**
- ◎ 入学確約書提出期限 令和5年1月25日(水) 必着

##### <学力による選抜>

- WEB 出願エントリー期間 令和5年1月12日(木)～令和5年1月27日(金)
- 学力選拔出願期間 令和5年1月23日(月)～1月27日(金)
- 学力検査日 令和5年2月12日(日) 4教科「理科」「英語」「数学」「国語」マークシート方式
- 追試験(コロナ等) 令和5年2月26日(日)
- 合格発表 **令和5年2月17日(金)**
- 入学確約書提出期限 令和5年2月24日(金)12時(正午)

私立との併願受験が可能です。また、**公立高校も受験したいと考えている人は、日程の関係で公立高校第一次選抜に出願することになります。岐阜高専に合格したら、出願先公立高校に「出願取下願」と「受検票」を提出**します。

注) 岐阜高専を受検する場合は、岐阜高専が第一志望となり、合格した場合は公立高校を受検することができません。(受検料の返却もありません) また、併願先の私立高校への進学を選ぶこともできません。

以上、私立・公立高校を中心に、特に留意する点をまとめました。**保護者や担任の先生と絶えず相談**をしながら、希望実現に向けて努力してほしいと思います。ただし、選抜試験である以上、不合格になる可能性もあります。自分の夢や希望を見失わず、それをもとにして、いろいろなケースについて、担任や保護者のアドバイスをよく聞いて、十分時間をかけて選択していきましょう。